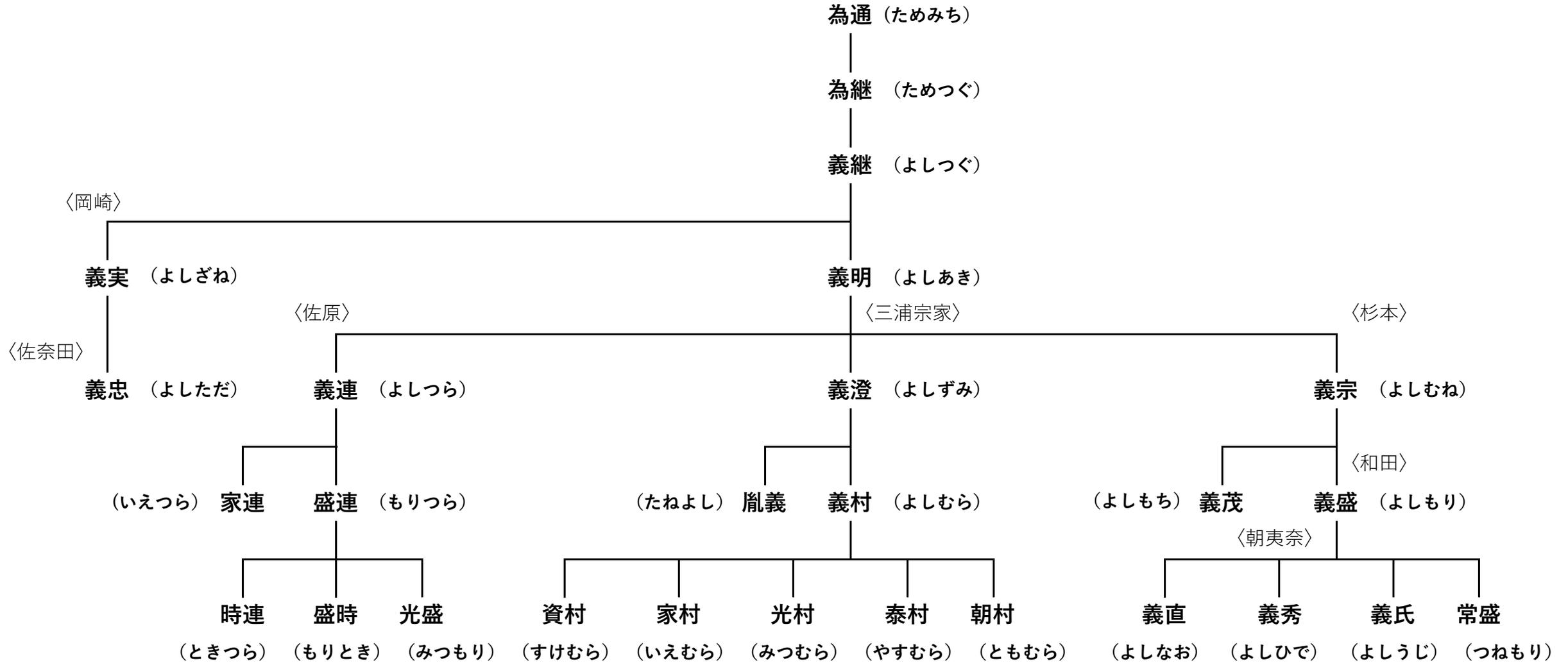


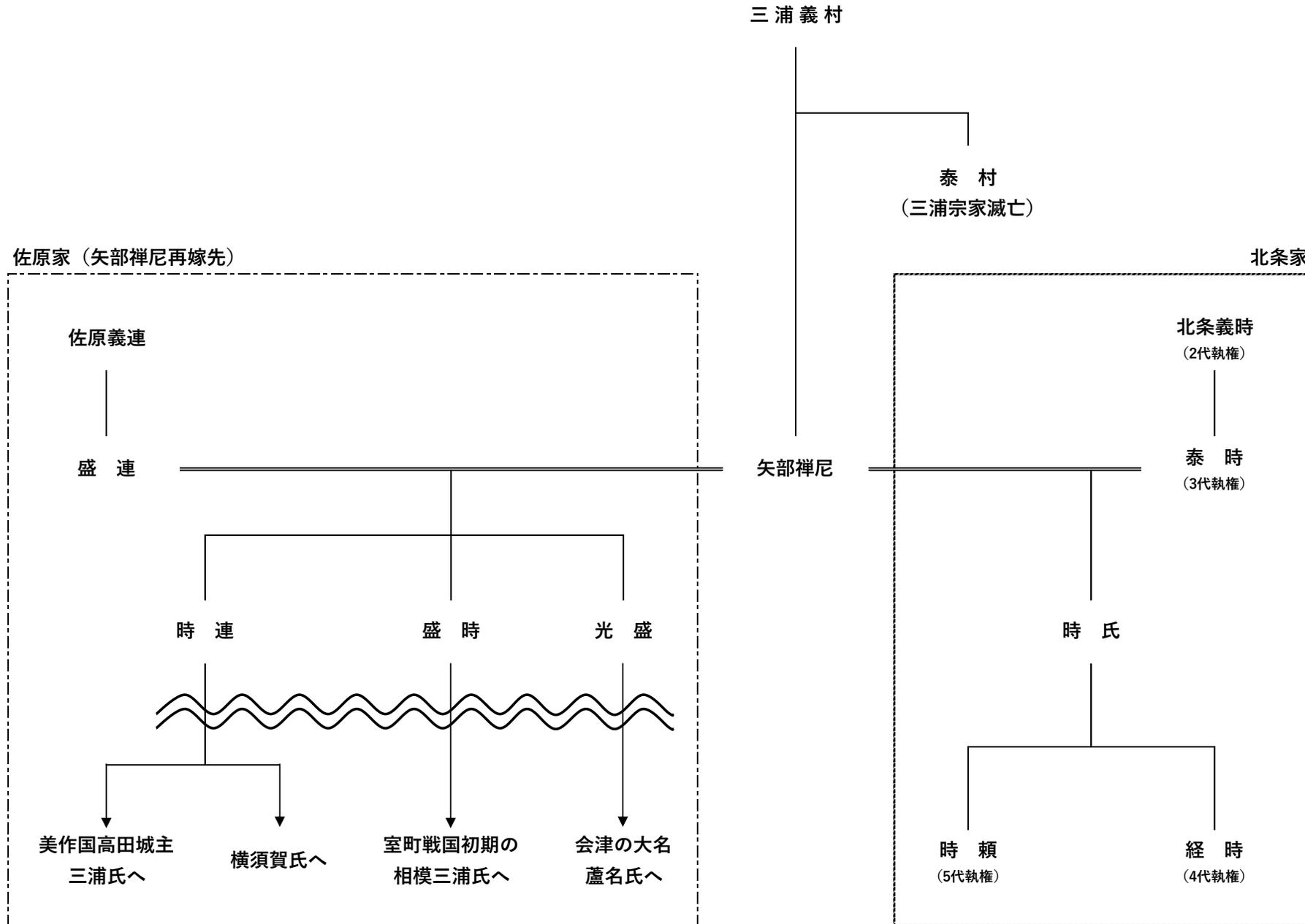
系図 1

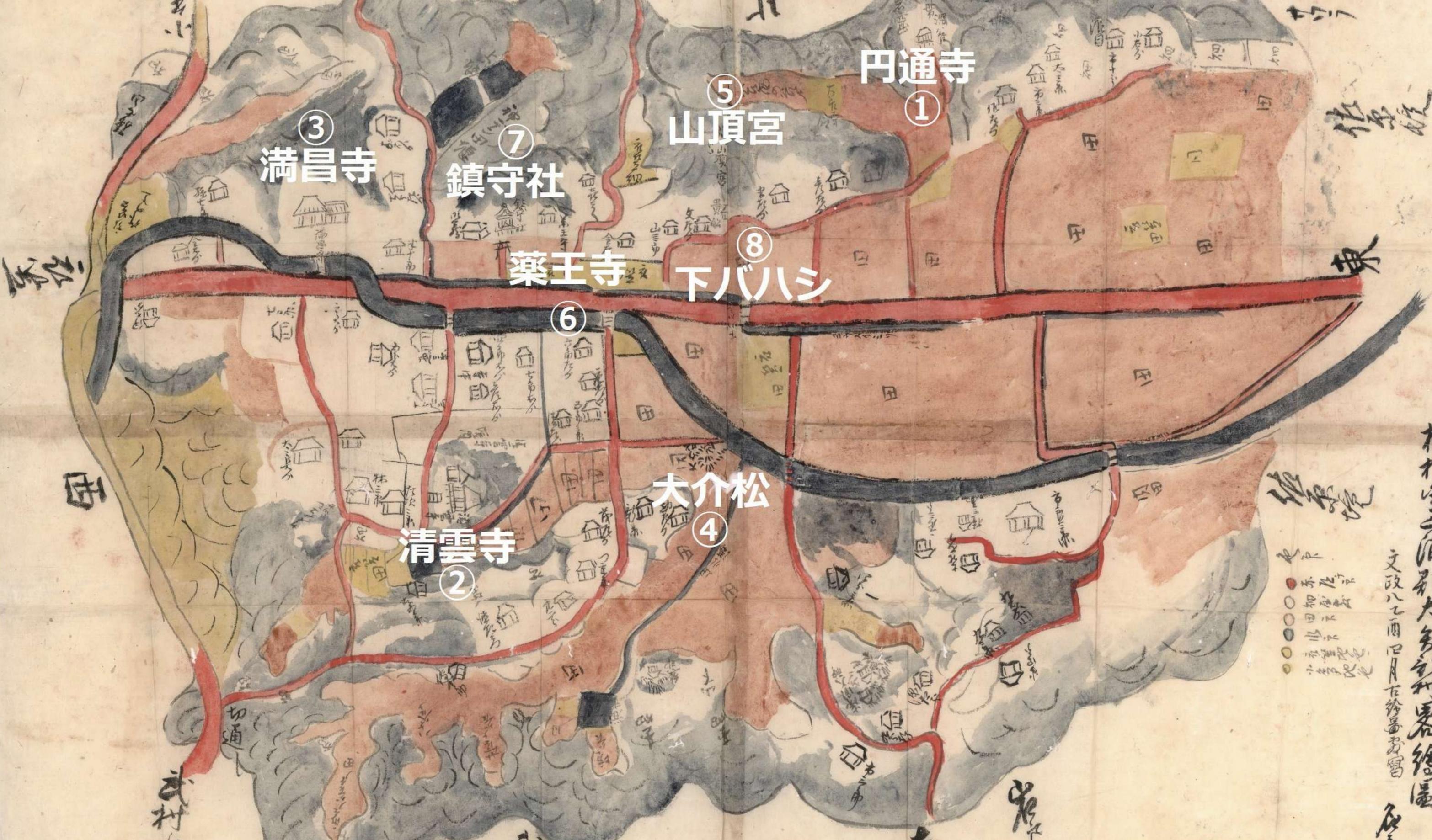
【三浦一族関連略系図】



系図 2

【三浦義村とその子孫】





③ 満昌寺

⑦ 鎮守社

⑤ 山頂宮

① 円通寺

薬王寺

⑧ 下バハシ

⑥

大介松

② 清雲寺

④

- 赤丸
- 細丸
- 田
- 山
- 水
- 池

相模小田原郡大森村界繪圖
 文政八丁四月古繪巻
 辰巳

《史料》

【史料1】『吾妻鏡』建久五年（一一九四）九月二十九日条

三浦矢部郷内、一堂を建立すべきの由、思しめし立つ。故介義明を訪われんがためなり。今日仲業（中原）に仰せてその地を巡検すと云々。

【史料2】『吾妻鏡』嘉禎三年（一二三七）六月一日条

（三浦義村の娘）

矢部禪尼（法名禪阿）、和泉国吉井郷の御下文を賜る。前遠江守盛連譲り附けしむるによりてなり。（佐原）

（北条）

かの御下文、五郎時頼三浦矢部の別庄に持ち向かうと云々。これ駿河前司義村（三浦）の娘なり。始め左京（北条泰時）

兆の室として故修理亮を生み、後に盛連の室として、光盛・盛時・時連等の母となると云々。

【史料3】「鶴岡八幡宮文書」宝治元年（一二四七）六月二十日、藤原頼嗣寄進状

寄進し奉る 鶴岡八幡宮御領の事

相模国谷部郷

右、謀逆の輩ありといえども、忽ちにもって誅せられおわんぬ。これすなわち神道加護の致すところなり。敬神のため寄進し奉るところ件のごとし。

宝治元年 六月二十日

右少将藤原（花押）

【史料4】板碑銘（円通寺旧蔵 清雲寺現蔵）

文永八年五月十四日、左衛門尉平盛信（佐原）

右、志は、先考（佐原光盛）聖霊十三年遠忌に当たり、成仏得道のため、造立供養、件のごとし。敬白。